

**IBM InfoSphere DataStage and
QualityStage**

バージョン 11 リリース 3

**IBM InfoSphere Information
Server Streams Connector
メッセージ・リファレンス**



**IBM InfoSphere DataStage and
QualityStage**

バージョン 11 リリース 3

**IBM InfoSphere Information
Server Streams Connector
メッセージ・リファレンス**



お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、21 ページの『特記事項および商標』に記載されている情報をお読みください。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： SC19-4363-00
IBM InfoSphere DataStage and QualityStage
Version 11 Release 3
IBM InfoSphere Information Server
Streams Connector Message Reference

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 2013, 2014.

目次

InfoSphere Streams Connector メッセージ	1	付録 E. 製品資料へのアクセス	17
付録 A. 製品のアクセシビリティ	9	付録 F. 製品資料に関するフィードバックの提供	19
付録 B. コマンド・ライン構文の読み方	11	特記事項および商標	21
付録 C. 構文図の見方	13	索引	27
付録 D. IBM の窓口	15		

InfoSphere Streams Connector メッセージ

このメッセージ・リファレンスには、InfoSphere Streams Connector によって返されるメッセージが含まれています。

InfoSphere Streams Connector がインストールされているオペレーティング・システムの機能をよく理解している必要があります。このメッセージ・リファレンスの情報を使用して、エラーや警告を特定し、適切なリカバリー・アクションによって問題を解決することができます。また、この情報により、メッセージが生成され記録される場所を確認できます。

このコネクタは、インストール、ファイルの書き込みおよび読み取り、および製品の一般的な使用において発生するエラーに関するメッセージを生成します。

各メッセージに、接頭部 (IIS) とメッセージ番号で構成されるメッセージ ID があります。メッセージは、メッセージ番号に基づいて番号順にリストされています。メッセージ・タイプには、エラー、警告、および通知の 3 種類があります。E で終わるメッセージ ID は、エラー・メッセージです。W で終わるメッセージ ID は、警告を示しています。I で終わるメッセージ ID は通知メッセージを示しています。

メッセージ中にある {0} 記号は、コードによって返される変数を示しています。この変数は、生成されるメッセージに固有の値またはプロパティを示しています。

エラーの詳細は、IBM® InfoSphere™ DataStage® and QualityStage™ ディレクター・クライアントのログ・ファイルで確認できます。

IIS-CONN-STREAMS-00001E プロパティ {プロパティ名} に定義された値がありません

説明: {プロパティ名} プロパティに値を指定する必要があります。

ユーザーの処置: プロパティに値を指定してください。

IIS-CONN-STREAMS-00002E メモリーの割り振りに失敗しました

説明: オペレーティング・システムは、InfoSphere Streams Connector が要求したメモリーを割り振ることができませんでした。

ユーザーの処置: システム・リソースを解放するか、使用可能なメモリーを増やしてから、ジョブを再実行してください。

IIS-CONN-STREAMS-00007E メソッド {メソッド名} が引数 {パラメーター名} に対して NULL 値で呼び出されました

説明: メソッド {メソッド名} のパラメーター {パラメーター名} に NULL 値が指定されました。

ユーザーの処置: ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは .dsx ファイルまたは .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートに連絡する前に収集する必要がある具体的なログと情報については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのトラブルシューティングに関するトピックを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-STREAMS-00008E "{ソケット処理名}" ソケット処理時に、エラー・コード {ソケット処理のエラー・コード} が返されました: {ソケット処理のエラー・メッセージ}

説明: InfoSphere Streams Connector は、示された TCP ソケット処理を実行できませんでした。

ユーザーの処置: 示されたエラー・メッセージを確認して、TCP ソケット処理が失敗した理由を特定してください。

IIS-CONN-STREAMS-00010E ソケットのオープンに失敗しました。

説明: TCP ソケット処理の実行中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 示されたエラー・メッセージを確認して、TCP ソケット処理が失敗した理由を特定してください。

IIS-CONN-STREAMS-00011E {ホスト名} (ポート {ポート番号}) への接続に失敗しました。

InfoSphere Streams サーバー・サイドの InfoSphere Streams アプリケーションの状況を検査してください。

説明: InfoSphere Streams Connector は、示された InfoSphere Streams アプリケーションのエンドポイントに接続できませんでした。

ユーザーの処置: 示された InfoSphere Streams サーバー・ホストにログインし、InfoSphere Streams アプリケーションのヘルス状況を確認してください。

IIS-CONN-STREAMS-00012E データが入力ストリームで想定より早くなくなりました。

説明: InfoSphere Streams から受信したデータが不完全です。データを処理できないため、ジョブは停止する必要があります。

ユーザーの処置: InfoSphere Streams サーバーにログインし、InfoSphere Streams のヘルス状況を確認してください。

IIS-CONN-STREAMS-00013E 入力ストリームからのデータの読み取りに失敗しました。

説明: InfoSphere Streams から受信したデータが無効または不完全です。データを処理できず、ジョブは停止する必要があります。

ユーザーの処置: InfoSphere Streams サーバーにログイン

し、InfoSphere Streams アプリケーションのヘルス状況を確認してください。

IIS-CONN-STREAMS-00014E 予期しないエラーが発生しました

説明: 予期しない内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは .dsx ファイルまたは .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートに連絡する前に収集する必要がある具体的なログと情報については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのトラブルシューティングに関するトピックを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-STREAMS-00017I InfoSphere Streams サーバーが起動するのを最大 {秒数} 秒待機しています...

説明: アプリケーションのエンドポイントが使用不可であったため、InfoSphere Streams Connector は InfoSphere Streams に接続できませんでした。{秒数} 秒後に、InfoSphere Streams Connector は接続を再試行します。

ユーザーの処置: InfoSphere Streams にエラーがないかチェックしてください。InfoSphere Streams サーバーにログインし、InfoSphere Streams アプリケーションのヘルス状況を確認してください。

IIS-CONN-STREAMS-00018I InfoSphere Streams のホスト {ホスト名} (ポート {ポート番号}) に接続しました

説明: ジョブが開始し、InfoSphere Streams Connector は InfoSphere Streams アプリケーションのエンドポイントへの TCP 接続を確立しました。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

IIS-CONN-STREAMS-00019E ネーム・サーバーから名前をルックアップするのに失敗しました。
{ルックアップ・エラー }

説明: InfoSphere Streams Connector は InfoSphere Streams ネーム・サーバーを照会できなかつたため、InfoSphere Streams に接続できませんでした。Connector がネーム・サーバーをルックアップしようとしたときに、次のエラーが発生しました。{ルックアップ・エラー }。

ユーザーの処置: InfoSphere Streams サーバーにログインし、InfoSphere Streams アプリケーションと InfoSphere Streams ネーム・サーバーのヘルス状況を確認してください。

IIS-CONN-STREAMS-00020E エンドポイント名 {エンドポイント名 } が見つかりませんでした。

説明: InfoSphere Streams ネーム・サーバーのルックアップで、示されたエンドポイントの TCP アドレスが返されなかつたため、InfoSphere Streams Connector は InfoSphere Streams に接続できませんでした。

ユーザーの処置: InfoSphere Streams サーバーにログインし、InfoSphere Streams アプリケーションのヘルス状況を確認してください。

IIS-CONN-STREAMS-00021E ネーム・サービスからの応答が認識されませんでした。

説明: InfoSphere Streams Connector は InfoSphere Streams に接続できませんでした。InfoSphere Streams ネーム・サーバーのルックアップで、Connector が認識できるエンドポイントの TCP アドレスが返されませんでした。

ユーザーの処置: InfoSphere Streams サーバーにログインし、InfoSphere Streams アプリケーションと InfoSphere Streams ネーム・サーバーのヘルス状況を確認してください。

IIS-CONN-STREAMS-00023E 過去 {データ受信のタイムアウト期間 } 秒以内に Streams アプリケーションから受信したデータはありません。ジョブを中止します。Streams アプリケーションでエラーを確認してください。
アプリケーション名: {Streams アプリケーション名 }。アプリケーション・スコープ: {Streams アプリケーション・スコープ }。エンドポイント: {Streams アプリケーションのエンドポイント名 }。ホスト名: {ホスト名 }。ポート番号: {ポート番号 }

説明: 示されたタイムアウト期間内に、予期されたデータが InfoSphere Streams から受信されませんでした。受信したどのデータも処理できず、ジョブは停止する必要があります。

ユーザーの処置: InfoSphere Streams サーバーにログインし、InfoSphere Streams アプリケーションのヘルス状況を確認してください。アプリケーション名: {Streams アプリケーション名 }。アプリケーション・スコープ: {Streams アプリケーション・スコープ }。エンドポイント: {Streams アプリケーションのエンドポイント名 }。ホスト名: {ホスト名 }。ポート番号: {ポート番号 }。

IIS-CONN-STREAMS-00025E コレクション XML を構文解析できませんでした。{XML パーサー・エラー }

説明: InfoSphere Streams Connector は、示されたエラーのために、コレクション XML データを構文解析できませんでした。

ユーザーの処置: XML パーサーのエラー・メッセージの中で、追加のエラー情報を探してください。コレクション XML データが、InfoSphere Streams Connector の資料に記載されているスキーマに準拠していることを確認します。詳しくは、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere Streams のデータ・タイプ変換に関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-STREAMS-00026E ストリング・データの変換に失敗しました

説明: InfoSphere Streams Connector は、ストリング・データから InfoSphere Streams のネイティブ・データ・タイプのフォーマットへの変換またはその逆の変換を行うことができませんでした。

ユーザーの処置: ストリング・データにエラーがないかチェックしてください。詳しくは、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere Streams のデータ・タイプ変換に関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-STREAMS-00027E 16 進数ストリング {16 進数ストリング } の変換に失敗しました

説明: InfoSphere Streams Connector は、コレクション XML 16 進データ・エレメント {16 進数ストリング } を InfoSphere Streams バイナリー・データ・タイプのフォーマットに変換できませんでした。

ユーザーの処置: コレクション XML データが、InfoSphere Streams Connector の資料に記載されているスキーマに準拠していることを確認します。詳しくは、InfoSphere Information Server インフォメーション・セン

ターの InfoSphere Streams のデータ・タイプ変換に関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-STREAMS-00028E タイム・スタンプ・データ "{タイム・スタンプ・データ}" の変換に失敗しました。フォーマットは "YYYY-MM-DD HH:MI:SS[.FFFFFFFF]" でなければなりません

説明: InfoSphere Streams Connector は、コレクション XML タイム・スタンプ・データ・エレメント {タイム・スタンプ・データ} を InfoSphere Streams タイム・スタンプ・データ・タイプのフォーマットに変換できませんでした。タイム・スタンプ・データは、YYYY-MM-DD HH:MI:SS[.FFFFFFFF] のフォーマットでなければなりません。

ユーザーの処置: コレクション XML データにエラーがないかチェックし、タイム・スタンプのフォーマット仕様に準拠するようにデータを修正してください。

IIS-CONN-STREAMS-00029E タイム・スタンプ・データ "{タイム・スタンプ・データ}" の変換に失敗しました。年は 1970 以上でなければなりません

説明: InfoSphere Streams Connector は、コレクション XML タイム・スタンプ・データ・エレメント {タイム・スタンプ・データ} を InfoSphere Streams タイム・スタンプ・データ・タイプのフォーマットに変換できませんでした。年は 1970 以上でなければなりません。

ユーザーの処置: コレクション XML データにエラーがないかチェックし、タイム・スタンプのフォーマット仕様に準拠するようにタイム・スタンプの年のデータを修正してください。

IIS-CONN-STREAMS-00030E 複雑なデータ "{複雑なデータ}" の変換に失敗しました。データはコンマで区切った 2 桁の 10 進数でなければなりません

説明: InfoSphere Streams Connector は、コレクション XML 複雑なデータ・エレメント {複雑なデータ} を InfoSphere Streams 複雑なデータ・タイプのフォーマットに変換できませんでした。データはコンマで区切った 2 桁の 10 進数でなければなりません。

ユーザーの処置: コレクション XML データにエラーがないかチェックし、複雑なデータのフォーマット仕様に準拠するように複雑なデータを修正してください。

IIS-CONN-STREAMS-00031E 10 進数データ "{10 進数データ}" の変換に失敗しました

説明: InfoSphere Streams Connector は、コレクション XML 10 進数データ・エレメント {10 進数データ} を InfoSphere Streams 10 進数データ・タイプのフォーマットに変換できませんでした。

ユーザーの処置: コレクション XML 10 進数データにエラーがないかチェックし、10 進数データのフォーマット仕様に準拠するように 10 進数データを修正してください。

IIS-CONN-STREAMS-00032E コレクションがリストであるため、ルート・エレメントは List でなければなりません

説明: コレクション XML データが無効です。コレクションがリストであるため、ルート・エレメントも List でなければなりません。

ユーザーの処置: コレクション XML データが、InfoSphere Streams Connector の資料に記載されているスキーマに準拠していることを確認します。詳しくは、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere Streams のデータ・タイプ変換に関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-STREAMS-00033E コレクションがセットであるため、ルート・エレメントは Set でなければなりません

説明: コレクション XML データが無効です。コレクションがセットであるため、ルート・エレメントは Set でなければなりません。

ユーザーの処置: コレクション XML データが、InfoSphere Streams Connector の資料に記載されているスキーマに準拠していることを確認します。詳しくは、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere Streams のデータ・タイプ変換に関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-STREAMS-00034E コレクションがマップであるため、ルート・エレメントは Map でなければなりません

説明: コレクション XML データが無効です。コレクションがマップであるため、ルート・エレメントは Map でなければなりません。

ユーザーの処置: コレクション XML データが、InfoSphere Streams Connector の資料に記載されているスキーマに準拠していることを確認します。詳しくは、InfoSphere Information Server インフォメーション・セン

ターの InfoSphere Streams のデータ・タイプ変換に関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-STREAMS-00035E パーサーの作成に失敗しました

説明: InfoSphere Streams Connector は XML パーサーを作成できませんでした。

ユーザーの処置: 使用可能なリソースがないかオペレーティング・システムをチェックし、失敗の実際の原因を詳しく説明した追加のログ・メッセージを探してください。

IIS-CONN-STREAMS-00036E コレクション XML の形式が間違っています。エレメント "{XML エレメント名}" は予期されていません。

説明: コレクション XML データが無効です。示された XML エレメントは予期されていませんでした。

ユーザーの処置: コレクション XML データが、InfoSphere Streams Connector の資料に記載されているスキーマに準拠していることを確認します。詳しくは、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere Streams のデータ・タイプ変換に関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-STREAMS-00037E コレクション XML の形式が誤っています。ルート・エレメント {XML エレメント名} は無効です。ルートは List、Set、または Map のいずれかでなければなりません

説明: コレクション XML データが無効です。示された XML ルート・エレメントは予期されていませんでした。ルートは List、Set、または Map のいずれかの値でなければなりません。

ユーザーの処置: コレクション XML データが、InfoSphere Streams Connector の資料に記載されているスキーマに準拠していることを確認します。詳しくは、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere Streams のデータ・タイプ変換に関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-STREAMS-00038E コレクションは上限の {コレクション限界} 個のエレメントを持っていますが、{コレクション・エレメントの数} 個のエレメントがコレクション XML で検出されました

説明: コレクション XML データが無効です。コレクションは最大 {コレクション限界} 個のエレメントを

持っていますが、{コレクション・エレメントの数} 個のエレメントがコレクション XML で検出されました。

ユーザーの処置: コレクション XML データにエラーがないかチェックしてください。コレクション・データは、Streams アプリケーション SPL で指定されたデザイン・スキーマと一致しません。Streams アプリケーション SPL スキーマに一致するようにコレクション・データを修正してください。

IIS-CONN-STREAMS-00039E Streams の decimal128 タイプの入力ストリングが長過ぎます。decimal128 タイプのストリングの最大長は {10 進数の長さ} です。列名 {列名}、レコード番号 {レコード番号}、10 進数値 {無効な 10 進数データ値}、10 進数ストリングの実際の長さ {実際の 10 進数の長さ}。

説明: decimal128 データ・タイプのデータが無効です。decimal128 タイプのストリングの最大長は {10 進数の長さ} です。レコード {レコード番号} 内の列 {列名} に、無効な 10 進数値 {無効な 10 進数データ値} があります。実際の長さは {実際の 10 進数の長さ} です。

ユーザーの処置: decimal128 データ・タイプ仕様に一致するように 10 進数データを修正してください。

IIS-CONN-STREAMS-00040E Streams の decimal64 タイプの入力ストリングが長過ぎます。decimal64 タイプのストリングの最大長は {10 進数の長さ} です。列名 {列名}、レコード番号 {レコード番号}、10 進数値 {無効な 10 進数データ値}、10 進数ストリングの実際の長さ {実際の 10 進数の長さ}。

説明: decimal64 データ・タイプのデータが無効です。decimal64 タイプのストリングの最大長は {10 進数の長さ} です。レコード {レコード番号} 内の列 {列名} に、無効な 10 進数値 {無効な 10 進数データ値} があります。実際の長さは {実際の 10 進数の長さ} です。

ユーザーの処置: decimal64 データ・タイプ仕様に一致するように 10 進数データを修正してください。

IIS-CONN-STREAMS-00041E Streams の decimal32 タイプの入力ストリングが長過ぎます。decimal32 タイプのストリングの最大長は {10 進数の長さ} です。列名 {列名}、レコード番号 {レコード番号}、10 進数値 {無効な 10 進数データ値}、10 進数ストリングの実際の長さ {実際の 10 進数の長さ}。

説明: decimal32 データ・タイプのデータが無効です。decimal32 タイプのストリングの最大長は {10 進数の長さ} です。レコード {レコード番号} 内の列 {列名} に、無効な 10 進数値 {無効な 10 進数データ値} があります。実際の長さは {実際の 10 進数の長さ} です。

ユーザーの処置: decimal32 データ・タイプ仕様に一致するように 10 進数データを修正してください。

IIS-CONN-STREAMS-00042E 10 進数ストリングのフォーマットが無効です。列名 {列名}、レコード番号 {レコード番号}、10 進数値 {無効な 10 進数データ値}。

説明: 10 進データ・タイプのデータが無効です。レコード {レコード番号} 内の列 {列名} に、無効な 10 進数値 {無効な 10 進数データ値} があります。

ユーザーの処置: 10 進データ・タイプ仕様に一致するように 10 進数データを修正してください。

IIS-CONN-STREAMS-00043E 数値の調整された指数が正で、フォーマットの emax より大きいです。列名 {列名}、レコード番号 {レコード番号}、10 進数値 {無効な 10 進数データ値}。

説明: 数値の調整された指数が Emax より大きいため、10 進データ・タイプのデータが無効です。レコード {レコード番号} 内の列 {列名} に、無効な 10 進数値 {無効な 10 進数データ値} があります。

ユーザーの処置: 10 進データ・タイプ仕様に一致するように 10 進数データを修正してください。

IIS-CONN-STREAMS-00044E 数値の調整された指数が負で、フォーマットの emin より小さいです。列名 {列名}、レコード番号 {レコード番号}、10 進数値 {無効な 10 進数データ値}。

説明: 数値の調整された指数が Emin より小さいため、10 進データ・タイプのデータが無効です。レコード {レコード番号} 内の列 {列名} に、無効な 10 進数値 {無効な 10 進数データ値} があります。

ユーザーの処置: 10 進データ・タイプ仕様に一致するように 10 進数データを修正してください。

IIS-CONN-STREAMS-00045E 構文エラーまたは範囲外エラーのため、バック 10 進数の数値を 10 進数に変換することができませんでした。列名 {列名}、レコード番号 {レコード番号}、バック 10 進数の値 {無効な 10 進数データ値}。

説明: InfoSphere Streams Connector は無効なバック 10 進数データを検出しました。レコード {レコード番号} 内の列 {列名} に、無効な 10 進数値 {無効な 10 進数データ値} があります。

ユーザーの処置: 10 進データ・タイプ仕様に一致するように 10 進数データを修正してください。

IIS-CONN-STREAMS-00046E Streams タブルのメタデータの処理に失敗しました: {XML パーサー・エラー}。

説明: InfoSphere Streams Connector は InfoSphere Streams アプリケーション・エンドポイントの XML メタデータを構文解析できませんでした。XML パーサーから次のエラーが返されました。{XML パーサー・エラー}。

ユーザーの処置: InfoSphere Streams エラーがないか InfoSphere Streams サーバー・サイドをチェックして、InfoSphere Streams を再始動してください。XML パーサーのエラー・メッセージの中で、追加のエラー情報を探してください。問題を解決できない場合は、ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは .dsx ファイルまたは .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートに連絡する前に収集する必要がある具体的なログと情報については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのトラブルシューティングに関するトピックを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-STREAMS-00047E Streams メタデータの構文解析に失敗しました。マジック数が無効です。

説明: InfoSphere Streams Connector は InfoSphere Streams アプリケーション・エンドポイントの XML メタデータを構文解析できませんでした。InfoSphere Streams メタデータが認識されません。

ユーザーの処置: InfoSphere Streams エラーがないか InfoSphere Streams サーバー・サイドをチェックして、InfoSphere Streams を再始動してください。XML パーサーのエラー・メッセージの中で、追加のエラー情報を探してください。問題を解決できない場合は、ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは .dsx ファイルまたは .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートに連絡する前に収集する必要がある具体的なログと情報については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのトラブルシューティングに関するトピックを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-STREAMS-00048E Streams タブルのメタデータの処理に失敗しました。属性 {タブル属性名} の認識されないタイプ {タブル属性タイプ}

説明: InfoSphere Streams Connector は InfoSphere Streams アプリケーション・エンドポイントのメタデータを構文解析できませんでした。{タブル属性タイプ} タイプの InfoSphere Streams タブル属性 {タブル属性名} は、サポートされている InfoSphere Streams 属性タイプではありません。

ユーザーの処置: InfoSphere Streams SPL アプリケーション・エンドポイント・スキーマで、示された属性の属性タイプを、InfoSphere Streams Connector によってサポートされているタイプに変更してください。詳しくは、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere Streams のデータ・タイプ変換に関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-STREAMS-00049E 属性 {タブル属性名} で、Streams タイプ {タブル属性タイプ} を DataStage タイプ {列のタイプ} にマップできません。

説明: InfoSphere Streams Connector リンク・スキーマは、InfoSphere Streams エンドポイント・スキーマと一致しませんでした。{タブル属性タイプ} タイプの InfoSphere Streams タブル属性 {タブル属性名} は、InfoSphere DataStage タイプ {列のタイプ} にマップできません。

ユーザーの処置: InfoSphere Streams SPL アプリケーション・エンドポイント・スキーマまたは InfoSphere Streams Connector リンク・スキーマを変更してください。

- InfoSphere Streams スキーマで、示された属性の属性タイプを、サポートされている InfoSphere DataStage タイプにマップできるタイプに変更してください。
- InfoSphere Streams Connector リンク・スキーマで、示された属性の列のタイプを、サポートされている InfoSphere Streams タイプにマップできるタイプに変更してください。詳しくは、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere Streams のデータ・タイプ変換に関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-STREAMS-00050I Streams コネクタの列インターフェースが、Streams Endpoint のメタデータ・インターフェースで突き合わせられます。

説明: InfoSphere Streams Connector リンク・スキーマは、InfoSphere Streams アプリケーション・エンドポイント・スキーマと一致します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

IIS-CONN-STREAMS-00051E Streams タブルの処理に失敗しました。属性 {タブル属性名} のサポートされないタイプ {タブル属性タイプ}。

説明: InfoSphere Streams Connector リンク・スキーマは、InfoSphere Streams アプリケーション・エンドポイント・スキーマと一致しません。InfoSphere Streams タブル属性 {タブル属性名} のタイプは、サポートされていないタイプ {タブル属性タイプ} です。

ユーザーの処置: InfoSphere Streams SPL アプリケーション・エンドポイント・スキーマで、示された属性のデータ・タイプを、サポートされている InfoSphere Streams タイプに変更してください。詳しくは、InfoSphere Information Server インフォメーション・セン

ターの InfoSphere Streams のデータ・タイプ変換に関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-STREAMS-00052E マーカー {マーカー値} が無効です。

説明: InfoSphere Streams Connector は、無効なタプル・パンクチュエーションを受信しました。マーカー値 {マーカー値} は InfoSphere Streams Connector によって認識されません。

ユーザーの処置: InfoSphere Streams サーバー・サイドの InfoSphere Streams アプリケーションの状況を確認してください。生成されたマーカーがないか InfoSphere Streams アプリケーション SPL コードをチェックしてください。サポートされるマーカー値は、1 (ウィンドウ・パンクチュエーション) と 2 (最終パンクチュエーション) です。パンクチュエーションについては、「IBM Streams Processing Language 言語仕様」を参照してください。

IIS-CONN-STREAMS-00053E 属性 {タプル属性名} の Streams 複合型 {タプル属性タイプ} はサポートされていません。プリミティブ型のコレクションのみがサポートされています。

説明: 属性 {タプル属性名} では、{タプル属性タイプ} タイプの InfoSphere Streams コレクションはサポートされていません。InfoSphere Streams Connector はプリミティブ InfoSphere Streams タイプのコレクション (リスト、セット、およびマップ) のみをサポートします。

ユーザーの処置: InfoSphere Streams SPL アプリケーション・エンドポイント・スキーマで、示された属性のタイプを、サポートされている InfoSphere Streams タイプに変更してください。詳しくは、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere Streams のデータ・タイプ変換に関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-STREAMS-00054I ドロップ済みの Streams アプリケーションに接続し、再接続します...

説明: TCP ソケット処理の実行中にエラーが発生しました。InfoSphere Streams への接続に失敗しました。InfoSphere Streams Connector は InfoSphere Streams に再接続しようとしています。

ユーザーの処置: TCP ソケット処理のエラーについて詳しくは、ジョブ・ログの中でこの周辺のメッセージを参照してください。InfoSphere Streams Connector は InfoSphere Streams に再接続するときに、Connector の接続プロパティに指定されている再接続期間と再接続間

隔を使用します。プロパティについて詳しくは、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere Streams のクライアント・ヘルプ資料を参照してください。

IIS-CONN-STREAMS-00055E ソケット・エラー、Streams アプリケーションへのデータ送信に失敗しました。

説明: TCP ソケット処理の実行中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: TCP ソケット処理のエラーについて詳しくは、ジョブ・ログの中でこの周辺のメッセージを参照してください。InfoSphere Streams サーバー・サイドの InfoSphere Streams アプリケーションの状況を確認してください。

IIS-CONN-STREAMS-00056E ソケット・エラー、Streams アプリケーションからのデータ受信に失敗しました。

説明: TCP ソケット処理の実行中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: TCP ソケット処理のエラーについて詳しくは、ジョブ・ログの中でこの周辺のメッセージを参照してください。InfoSphere Streams サーバー・サイドの InfoSphere Streams アプリケーションの状況を確認してください。

IIS-CONN-STREAMS-00057E スキーマのハンドシェイク障害により、再接続に失敗しました。

説明: InfoSphere Streams への接続に失敗し、InfoSphere Streams Connector は再接続できませんでした。

ユーザーの処置: TCP ソケット処理のエラーについて詳しくは、ジョブ・ログの中でこの周辺のメッセージを参照してください。InfoSphere Streams サーバー・サイドの InfoSphere Streams アプリケーションの状況を確認してください。

IIS-CONN-STREAMS-00058I Streams アプリケーションに再接続されました。操作を再開します。

説明: InfoSphere Streams Connector は InfoSphere Streams に正常に接続しました。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

付録 A. 製品のアクセシビリティ

IBM® 製品のアクセシビリティ対応状況についての情報を入手できます。

IBM InfoSphere® Information Server 製品のモジュールおよびユーザー・インターフェースは完全にはアクセシビリティ対応がなされていません。

IBM 製品のアクセシビリティ対応状況の詳細は、http://www.ibm.com/able/product_accessibility/index.html の IBM 製品のアクセシビリティ情報をご覧ください。

アクセシビリティ対応資料

IBM Knowledge Center には、製品のアクセシビリティ対応資料が用意されています。IBM Knowledge Center では、ほとんどの Web ブラウザーで表示可能な XHTML 1.0 形式で資料を提供しています。IBM Knowledge Center では XHTML を使用しているため、使用しているブラウザに設定されている表示形式で資料を表示できます。さらに、スクリーン・リーダーやその他の支援技術を使用して、資料にアクセスすることもできます。

IBM Knowledge Center にある資料は、PDF ファイルでも提供されますが、こちらは完全にはアクセシビリティ対応がなされていません。

IBM のアクセシビリティに対する取り組み

アクセシビリティに関する IBM のコミットメントの詳細については、IBM Human Ability and Accessibility Center を参照してください。

付録 B. コマンド・ライン構文の読み方

この資料では、特殊文字を使用してコマンド・ライン構文を定義しています。

次の特殊文字によってコマンド・ライン構文が定義されます。

- [] オプションの引数を識別します。大括弧で囲まれていない引数は必須です。
- ... 前の引数に複数の値を指定できることを示します。
- | 同時には使用できない情報であることを示します。区切り文字の左側の引数か、右側の引数のどちらか一方を使用できます。単一のコマンド使用で、両方の引数を使用することはできません。
- { } 同時には使用できない一連の引数を囲みます。この内の 1 つは必須です。引数がオプションの場合、引数は大括弧 ([]) で囲まれます。

注:

- 引数の最大文字数は 256 です。
- 埋め込みのスペースがある引数値は、単一引用符または二重引用符で囲みます。

例:

```
wsetsrc[-S server] [-l label] [-n name] source
```

source 引数は、**wsetsrc** コマンドで唯一必須の引数です。他の引数は大括弧で囲まれています。これは、これらの引数がオプションであることを示します。

```
wlsac [-l | -f format] [key... ] profile
```

この例で、**-l** および **-f format** 引数は、同時には使用できないもので、オプションでもあります。*profile* 引数は必須です。*key* 引数はオプションです。*key* 引数のあとの省略符号 (...) は、複数の *key* 名を指定できることを示します。

```
wrb -import {rule_pack | rule_set}...
```

この例で、*rule_pack* および *rule_set* 引数は同時には使用できませんが、どちらか 1 つの引数は指定する必要があります。また、省略符号 (...) は、複数の *rule_pack* または *rule_set* を指定できることを示します。

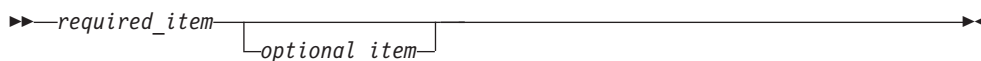
付録 C. 構文図の見方

本書で使用される構文図には、以下の規則が適用されます。

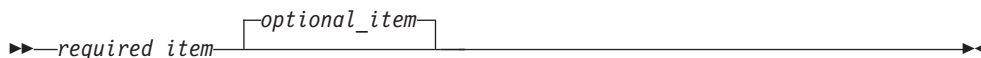
- 構文図は、左から右、上から下に、線に沿って読みます。以下の規則が使用されます。
 - >>--- 記号は、構文図の始まりを示します。
 - ---> 記号は、構文図が次の行に続くことを示します。
 - >--- 記号は、構文図が前の行から続いていることを示します。
 - --->< 記号は、構文図の終わりを示します。
- 必須項目は、水平線 (メインパス) 上にあります。



- オプション項目はメインパスの下に表示されます。

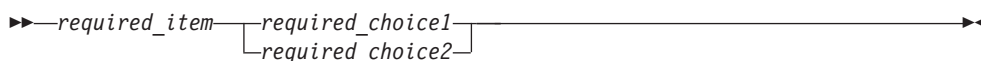


オプション項目がメインパスの上に表示される場合、その項目は構文要素の実行に影響せず、単に読みやすくするために使用されます。

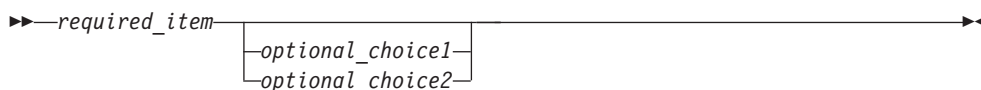


- 複数の項目から選択できる場合は、それらの項目を縦に並べて (スタック) 示しています。

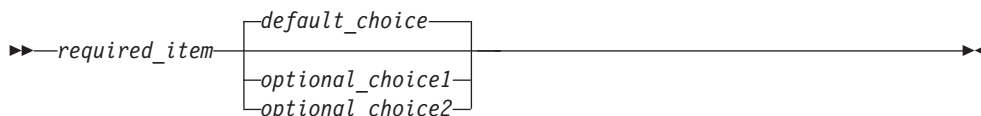
項目の 1 つを選択する必要がある場合は、スタックの 1 つの項目がメインパス上に示されています。



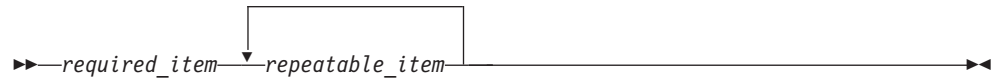
項目から 1 つをオプションで選択できる場合、スタック全体がメインパスよりも下に示されます。



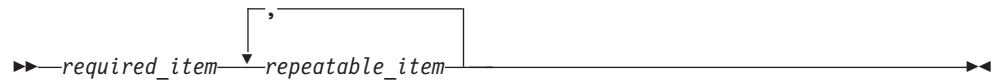
項目の 1 つがデフォルトである場合は、その項目はメインパスの上に表示され、残りの選択項目は下に示されます。



- メインラインの上に、左へ戻る矢印がある場合には、項目を繰り返して指定できることを示しています。



繰り返しの矢印にコンマが含まれている場合は、繰り返し項目をコンマで区切らなければなりません。

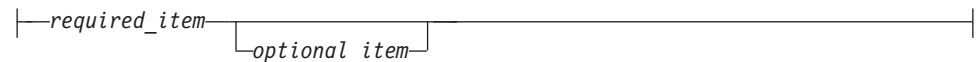


スタックの上の反復矢印は、スタック内の項目を反復できることを示します。

- 構文図が、複数のフラグメントに分かれている場合があります。構文フラグメントはメインの構文図とは別に示されますが、フラグメントの内容は、図のメインパス上にあるものとして読む必要があります。



fragment-name:



- キーワードは大文字で表示され、最小の省略形が存在する場合にはそれも大文字で表示されます。示されているとおりに入力する必要があります。
- 変数は、すべて小文字のイタリック体 (例えば、**column-name**) で表示されます。これらは、ユーザーが指定する名前または値を表します。
- 図の中に句読点がない場合は、キーワードおよびパラメーターを 1 つ以上のスペースで区切ります。
- 句読記号、括弧、算術演算子、およびその他の記号は、図に示されているとおりに入力してください。
- 脚注は、(1) のように、括弧の中に数字を入れた形で示されます。

付録 D. IBM の窓口

お客様サポート、ソフトウェア・サービス、製品情報、および全般情報について、IBM と連絡を取ることができます。また、製品についてのフィードバックを行うことができます。

次の表に、お客様サポート、ソフトウェア・サービス、研修、製品およびソリューション情報に関するリソースをリストしています。

表1. IBM リソース

リソース	説明と場所
IBM サポート・ポータル	サポート情報は、 www.ibm.com/support/entry/portal/Software/Information_Management/InfoSphere_Information_Server で、製品と関心のあるトピックを選択してカスタマイズできます。
ソフトウェア・サービス	ソフトウェア、IT、およびビジネス・コンサルティング・サービスについての情報は、「ソリューション」サイト www.ibm.com/businesssolutions/jp/ja にアクセスしてください。
My IBM	www.ibm.com/account/jp/ja/ の「My IBM」サイトでアカウントを作成し、特定のテクニカル・サポートのニーズに合うように、IBM Web サイトおよび情報へのリンクを管理できます。
研修と認定	個人、法人、および公共団体向けに、IT 技術の習得、維持、最適化を目的としてデザインされた技術研修およびサービスについては、 http://www.ibm.com/training にアクセスしてください。
IBM 担当員	ソリューションについて IBM 担当員と連絡を取るには、 www.ibm.com/connect/ibm/us/en/ にアクセスしてください。

付録 E. 製品資料へのアクセス

資料は、オンラインの IBM Knowledge Center、オプションでローカルにインストールしたインフォメーション・センター、PDF のブックといったさまざまな形式で提供されます。製品クライアント・インターフェースから、オンラインまたはローカルにインストールしたヘルプに直接アクセスすることができます。

IBM Knowledge Center は、InfoSphere Information Server の最新情報を探すのに最適な場所です。IBM Knowledge Center には、スイートのすべての製品モジュールの全資料のほか、ほとんどの製品インターフェースのヘルプも含まれています。IBM Knowledge Center は、インストール済み製品から開くことも、Web ブラウザーから開くこともできます。

IBM Knowledge Center へのアクセス

オンライン資料にアクセスするには、さまざまな方法があります。

- クライアント・インターフェースで、画面右上の「ヘルプ」リンクをクリックします。
- F1 キーを押します。F1 キーを押すと、通常、クライアント・インターフェースの現行コンテキストを説明するトピックが開きます。

注: F1 キーは、Web クライアントでは機能しません。

- 製品にログインしていないときなどに、Web ブラウザーにアドレスを入力します。

すべてのバージョンの InfoSphere Information Server の資料にアクセスするには、以下のアドレスを入力します。

<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSZJPZ/>

特定のトピックにアクセスするには、製品 ID とバージョン番号、資料プラグイン名、および URL 内のトピック・パスを指定します。例えば、バージョン 11.3 用のこのトピックの URL は以下のとおりです。(記号「⇒」は、行の継続を表します)

http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSZJPZ_11.3.0/⇒com.ibm.swg.im.iis.common.doc/common/accessingiidoc.html

ヒント:

Knowledge Center には、以下の短縮 URL もあります。

<http://ibm.biz/knowctr>

特定の製品ページ、バージョン、またはトピックの短縮 URL を指定するには、短縮 URL と製品 ID の間にハッシュ文字 (#) を使用します。例えば、すべての InfoSphere Information Server 資料の短縮 URL は、以下のとおりです。

<http://ibm.biz/knowctr#SSZJPZ/>

また、前述のトピックの URL を少し短くした短縮 URL は、以下のとおりです。(記号「⇒」は、行の継続を表します)

```
http://ibm.biz/knowctr#SSZJPZ_11.3.0/com.ibm.swg.im.iis.common.doc/⇒  
common/accessingiidoc.html
```

ローカルにインストールした資料を参照するヘルプ・リンクの変更

IBM Knowledge Center には、最新版の資料が含まれています。一方、インフォメーション・センターとしてローカル版の資料をインストールして、それを指すようにヘルプ・リンクを構成することも可能です。ローカルのインフォメーション・センターは、お客様の企業でインターネットへのアクセスが提供されていない場合に便利です。

インフォメーション・センターのインストール・パッケージに付属するインストール手順を使用して、任意のコンピューターにそれをインストールします。インフォメーション・センターをインストールして開始した後、サービス層のコンピューターで **iisAdmin** コマンドを使用して、製品の F1 とヘルプ・リンクで参照する資料の場所を変更できます。(記号「⇒」は、行の継続を表します)

Windows

```
IS_install_path¥ASBServer¥bin¥iisAdmin.bat -set -key ⇒  
com.ibm.iis.infocenter.url -value http://<host>:<port>/help/topic/
```

AIX® Linux

```
IS_install_path/ASBServer/bin/iisAdmin.sh -set -key ⇒  
com.ibm.iis.infocenter.url -value http://<host>:<port>/help/topic/
```

ここで、<host> はインフォメーション・センターがインストールされたコンピューターの名前、<port> はインフォメーション・センターのポート番号です。デフォルトのポート番号は 8888 です。例えば、デフォルト・ポートを使用するコンピューター `server1.example.com` 上の URL 値は、`http://server1.example.com:8888/help/topic/` になります。

PDF およびハードコピー資料の入手

- PDF ファイルのブックはオンラインで利用可能で、サポートの文書 <https://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27008803&wv=1> からアクセスできます。
- IBM 資料は、オンラインでダウンロード、または IBM 担当員を通じてご注文いただけます。資料をオンラインでダウンロードするには <http://www.ibm.com/e-business/linkweb/publications/servlet/pbi.wss> の IBM Publications Center にアクセスしてください。

付録 F. 製品資料に関するフィードバックの提供

IBM の資料に関する貴重なフィードバックをご提供ください。

お客様からのご意見やご感想は、IBM が質の高い情報を提供するための参考にさせていただきます。ご意見をお寄せいただく場合は、次のいずれかの方法を使用することができます。

- IBM の Web サイトでホストしている IBM Knowledge Center 内のトピックについてコメントをお寄せいただくには、サインインし、トピックの下の「**コメントの追加**」ボタンをクリックしてコメントを追加してください。このようにして送信されたコメントは、一般に公開されます。
- IBM Knowledge Center 内のトピックに関するコメントを IBM に送信し、他の人からは閲覧できないようにするには、サインインし、IBM Knowledge Center の下の「**フィードバック**」リンクをクリックしてください。
- オンライン・リーダー用のコメント・フォーム (www.ibm.com/software/awdtools/rcf/) を使用して、コメントを送信します。
- コメントを E メールで comments@us.ibm.com に送付します。お送りいただく情報には、製品の名前、製品のバージョン番号、資料の名前と部品番号 (該当する場合) を含めてください。特定のテキストについてご意見がある場合は、そのテキストの位置 (例えば、タイトル、表番号、ページ番号など) を記載してください。

特記事項および商標

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。この資料は、IBM から他の言語でも提供されている可能性があります。ただし、ご利用にはその言語版の製品もしくは製品のコピーを所有していることが必要な場合があります。

特記事項

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
J46A/G4
555 Bailey Avenue
San Jose, CA 95141-1003 U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性がありますが、その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、さまざまなオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されて

います。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© (お客様の会社名) (西暦年). このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。© Copyright IBM Corp. _年を入れる_. All rights reserved.

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

プライバシー・ポリシーに関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場合、ソフトウェア・オファリングにより個人情報が収集されることはありません。IBM の「ソフトウェア・オファリング」の一部には、個人情報を収集できる機能を持つものがあります。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項を確認ください。

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッションごとの Cookie または永続的な Cookie を使用場合があります。製品またはコンポーネントがリストされていない場合、その製品またはコンポーネントは Cookie を使用しません。

表 2. InfoSphere Information Server 製品およびコンポーネントによる Cookie の使用

製品モジュール	コンポーネントまたは機能	使用される Cookie の種類	収集するデータ	データの目的	Cookie の無効化
すべて (InfoSphere Information Server インストール済み環境の部分)	InfoSphere Information Server Web コンソール	<ul style="list-style-type: none"> セッション 永続 	ユーザー名	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 	無効にできない

表 2. InfoSphere Information Server 製品およびコンポーネントによる Cookie の使用 (続き)

製品モジュール	コンポーネントまたは機能	使用される Cookie の種類	収集するデータ	データの目的	Cookie の無効化
すべて (InfoSphere Information Server インストール済み環境の部分)	InfoSphere Metadata Asset Manager	<ul style="list-style-type: none"> セッション 永続 	個人情報でない	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 拡張されたユーザーのユーザビリティ シングル・サインオン構成 	無効にできない
InfoSphere DataStage®	Big Data File ステージ	<ul style="list-style-type: none"> セッション 永続 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー名 デジタル署名 セッション ID 	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 シングル・サインオン構成 	無効にできない
InfoSphere DataStage	XML ステージ	セッション	内部 ID	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 	無効にできない
InfoSphere DataStage	IBM InfoSphere DataStage and QualityStage® Operations Console	セッション	個人情報でない	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 	無効にできない
InfoSphere Data Click	InfoSphere Information Server Web コンソール	<ul style="list-style-type: none"> セッション 永続 	ユーザー名	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 	無効にできない
InfoSphere Data Quality Console		セッション	個人情報でない	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 シングル・サインオン構成 	無効にできない
InfoSphere QualityStage Standardization Rules Designer	InfoSphere Information Server Web コンソール	<ul style="list-style-type: none"> セッション 永続 	ユーザー名	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 	無効にできない
InfoSphere Information Governance Catalog		<ul style="list-style-type: none"> セッション 永続 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー名 内部 ID ツリーの状態 	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 シングル・サインオン構成 	無効にできない
InfoSphere Information Analyzer	InfoSphere DataStage and QualityStage Designer クライアントの中の Data Rules ステージ	セッション	セッション ID	セッション管理	無効にできない

この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライ

ン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれらには限られません。

このような目的での Cookie を含むさまざまなテクノロジーの使用の詳細については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』 (<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』および『IBM Software Products and Software-as-a-Service Privacy Statement』 (<http://www.ibm.com/software/info/product-privacy>) を参照してください。

商標

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://www.ibm.com)[®] は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

以下は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

Adobe は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel、Itanium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows および Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Java[™] およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

お客様サポート
連絡先 15

[カ行]

構文
 コマンド・ライン 11
コマンド
 構文 11
コマンド・ライン構文
 規則 11

[サ行]

サポート
 お客様 15
商標
 リスト 21
製品資料
 アクセス 17
製品のアクセシビリティ
 アクセシビリティ 9
ソフトウェア・サービス
 連絡先 15

[タ行]

特殊文字
 コマンド・ライン構文での 11
特記事項 21

[マ行]

メッセージ・リファレンス
 InfoSphere Streams Connector 1

W

Web サイト
 IBM 以外 13



Printed in Japan

SC43-1546-00



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21